

補聴器を購入する前に トラブルにならないために知っておくこと

医師の診察を受けずに補聴器を購入した方の中には治療が必要であったり、適した補聴器をつけていない場合があります。また知識・技術不足の補聴器販売店から直接購入したことでトラブルになるケースもあります。

ご自身にあった補聴器を見つけるには耳鼻咽喉科医（補聴器相談医）にご相談の上、適切な調整とケア、コンサルティングを受けることのできる専門の知識・技能をもった認定補聴器技能者がいる認定補聴器専門店をお勧めします。

認定補聴器専門店とは？



「認定補聴器専門店」とは、「認定補聴器技能者」が在籍し、補聴器の調整・選定に必要な種々の測定機器や設備について公益財団法人テクノエイド協会の認定審査基準をクリアしたお店だけに与えられる資格です。

○ もっと詳しく知りたい方はこちら

■ 公益財団法人テクノエイド協会 ホームページ
<https://www5.techno-aids.or.jp/nintei.php>



補聴器相談医とは？



補聴器を用いた医療に関わる、日本耳鼻咽喉科学会から委嘱された医師です。必要に応じて販売店を紹介し、補聴器購入後も認定補聴器技能者と連携し、経過観察と適切な使い方の指導をします。

○ もっと詳しく知りたい方はこちら

■ 一般社団法人日本耳鼻咽喉科学会 ホームページ
<http://www.jibika.or.jp/citizens/senmon/hochouki.html>



認定補聴器技能者とは？



認定補聴器技能者の役割.....

- 補聴器を一人ひとりの状態に合わせて調整（フィッティング）、より快適な「聞こえ」を追求
- テレビ、電話、会話が聞きづらい時のご相談
- 「聞こえ」や補聴器のご購入のご相談
- 公的支援のアドバイス
- 補聴器相談医と連携した対応

「認定補聴器技能者」になるためには、4年間の講習期間を経て、一定水準以上の知識と技能を取得し、公益財団法人テクノエイド協会の資格試験に合格する必要があります。

○ もっと詳しく知りたい方はこちら

■ 公益財団法人テクノエイド協会 ホームページ
<http://www.techno-aids.or.jp/senmon/hochou.shtml>



補聴器購入の流れ

STEP 01

医師の診察
難聴の診断・治療。
補聴器が必要か
効果があるか診断。



STEP 02

補聴器販売店に相談し、
コンサルティング・適切な調整（フィッティング）を
受けて自分にあった補聴器を購入

難聴は一人ひとり違います。高い音（高音）が聞こえづらくなっていたり、低い音（低音）が聞こえづらくなっていたり、また、補聴器を使用する環境も違います。補聴器の性能を最大限に発揮するためには、補聴器を一人ひとりの聞こえに合わせて調整（フィッティング）することが必要です。



補聴器販売店で
相談・購入する際のポイント

詳しい情報は
こちら



- 耳鼻咽喉科医からの紹介状を持って行きましょう。
- ご家族などと一緒に行きましょう。
- 補聴器をどのように使用したいか「目的」を伝えましょう。
- どんな時に聞こえにくいかなどできるだけ細かく伝えましょう。
- ご予算、価格等の相談もしましょう。

STEP 03

補聴器は購入しただけで
終わりではありません



日常生活の中で補聴器を使用するなかで、聞こえに不具合など感じることがあれば補聴器販売店で再度調整をしてもらいましょう。購入後も調整と使用トレーニングやアドバイス等のケアを受けながら、自分にあった補聴器にしていきます。

STEP 04

補聴器で聞こえの不便さが解消し、
生活の質が向上

定期的なアフターケアを受けることで安心して使い続けることができます。耳あかや汚れなどが原因で正常に聞こえない場合があったりします。定期点検で安心してお使いいただけます。また、聞こえに変化が生じたら耳鼻咽喉科を受診しましょう。



消費者へのアドバイス

- 補聴器を購入する前に専門医に相談すること
- 補聴器について情報を収集するとともに、専門的な設備や専門知識・技術を持った者がいる補聴器販売店で購入すること
- 耳の聞こえが十分でない高齢者の補聴器の契約には周りの協力が必要
- トラブルになった場合など、最寄りの消費生活センターへ相談すること
（独立行政法人 国民生活センター）ホームページより

一般社団法人 日本補聴器販売店協会が厚生労働省の補助事業として実施する補聴器販売者の技能向上研修資料より引用

滋賀県甲良町作成「補聴器購入費助成がはじまります」より一部抜粋